

「第17回岩村ふれあい祭り」 開催のアイデアやご意見を

新型コロナウイルス感染拡大防止により、高知県を始め日本全国でイベント等の開催を中止する動きがある中、「岩村ふれあい祭り」も開催の検討が必要となっています。

そこで、南国市の他地区の情報を収集するとともに、岩村ふれあい協議会委員の皆様の意見等をいただき、今後の進め方を検討しようと考え取りまとめた結果、従来のやり方では開催は難しいとの結果を得ました。

しかし、「岩村ふれあい祭り」は地域の活性化を目的に、行政から補助金をいただき開催している岩村では最大のイベントと考えており、単なる中止ではなく

他のやり方はないか考えているところで

また9月の開催ではなく世間の状況も見ながら三密を防げる手立てがないか、皆さんからの意見もいただきたいと思っています。

残念ながら生ビールを飲みながら楽しむというイベントは自粛という形になりますが、地域住民が集う楽しいイベントを何とか継続できないか岩村全体で知恵を出し合ってみませんか。

何かありましたら、岩村ふれあい協議会委員の皆様にお知らせください。

よろしくお願いいたします。

(岩村ふれあい協議会
会長 田所秀二)



今年度の敬老会開催・検討中

新型コロナウイルスの発生により各種の行事が中止されている昨今、敬老会について南国市内18地区の情報を得たところ、開催予定2地区以外16地区については中止するか検討中のご様子です。

敬老会は飲食を伴いますのでマスクの使用が出来ず、三密は避けられず、まし

て高齢者の集まりなので特に注意が必要です。

都会では相変わらず飲食を伴う社交場で感染者が出ております。交通機関も動き始め人の移動も多くなってきましたので、状況が相当改善されない限り開催は難しいのではと思われれます。中止となれば毎年楽しみにしている方には残念ですが7月初旬には決定致します。

(岩村社会福祉協議会会長 島崎宏明)

日章小学校の防災への取り組み 「南国市防災フォーラム」で発表



2月2日(日)、日章小学校からは南国市市制60周年記念「防災フォーラム」がザ・ミーニッツで開催され、市内小・中学校の防災への取り組みや、自主防災会との小・中学生とのディスカッションが行われました。

「防災倉庫の内容検分」や「地元の人を知るためのパーソナルシートづくり」など、防災に対する発表がありました。参加した自主防の大人たちも、関心するばかりでした。

(編集部)

ボウリング大会で 矢野公夫さんが優勝



2月16日、岩村公民館のボウリング大会が、ボウルかつらしまで開催されました。

参加者は15名で、和気あいあいと投球。

優勝は包末の矢野公夫さんでした。